



2026年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社デコルテ・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7372 URL <https://www.decolite.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 賢二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室ゼネラル・マネージャー (氏名) 東向 渡 TEL 03 (5843) 7875
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,964	6.1	459	9.9	436	10.2	284	10.0	284	10.0	284	10.0
2025年9月期第1四半期	1,851	2.5	418	15.0	395	18.2	258	17.2	258	17.2	258	17.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	55.42	—
2025年9月期第1四半期	50.55	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	12,489	5,267	5,267	42.2
2025年9月期	12,322	4,982	4,982	40.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,481	7.2	453	53.9	357	80.0	239	64.3	239	46.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	5,670,000株	2025年9月期	5,670,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	542,539株	2025年9月期	542,539株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	5,127,461株	2025年9月期1Q	5,107,961株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 2026年2月5日に当社ウェブサイト（<https://ir.decolite.co.jp/>）に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、米国の関税政策の影響による輸出減や法改正に伴う駆け込み需要の反動による住宅投資の急減からマイナス成長となった2025年7～9月期から転じて、当連結会計年度に入り内需が底堅く推移したことで実質GDP成長率はプラスとなりました。今後、減少が続いていた実質賃金が緩やかな増加に転じ、内需が本格的な回復に向かうという見方がある一方で、米国の関税政策を巡る各国との交渉や地政学リスクに伴う世界経済の減速懸念など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

ブライダル業界においては、減少が続いていた婚姻組数が下げ止まり、2024年にはわずかながら回復がみられるものの、伝統的な挙式・披露宴市場は本格的な回復には至らない状況が続いております。一方で、コロナ禍を経て結婚式に対する価値観の多様化が進み、従前のような大人数での挙式・披露宴からフォトウェディングや少人数婚などへのシフトが加速しております。このような状況下で、規模の大小を問わずブライダル関連企業の経営統合など、市場再編が進み始めております。フォトウェディングにおいては、新たな結婚式のスタイルの一つとしてコロナ禍以降も市場の成長が続き、同市場に活路を見出す新規参入事業者が一時期急増しましたが、直近では競争の激化により事業撤退する事業者が散見されるなど、競争環境にも変化が生じております。

このような経営環境の下、主力業態であるフォトウェディングサービスにおいては、撮影やヘアメイク、衣装などのサービスの質を高めつつ、ブライダル関連企業との送客提携拡大による集客チャネルの多様化及び広告宣伝費の配分の最適化による集客の強化、フォトウェディングの魅力や当社の強みを伝える営業力の強化、顧客のニーズを汲んで撮影の満足度を高める提案力の強化等により、撮影件数・客単価の向上を通じて引き続き業績の拡大に取り組んでまいりました。また、フォトウェディングのリーディングカンパニーとして、フォトウェディングの認知度の向上や顧客のニーズと環境に合わせた取組を進め、市場拡大に取り組んでまいりました。

アニバーサリーフォトサービスにおいては、お宮参りや七五三等のイベントだけでなく、お子様を中心に家族でリピートしたくなるHAPPYな体験を得られるフォトサービスを提供してまいりました。また、1店舗の中でテイストの異なる2つのブランドを展開することによる撮影シーンの多様化により、より多くのお客さまを獲得する試みなどを行ってまいりました。現在全国で6店舗展開していますが、今後は既存店舗のブランド力を強化し顧客層の厚い首都圏での店舗展開を進めつつ、多様なニーズを取り込むための取組を強化し、事業拡大を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、フォトウェディングサービスにおいて婚姻組数の下げ止まりや、広告宣伝の最適化、他社からの送客提携拡大による集客チャネルの多様化、接客品質向上による成約率の改善及び客単価の向上などの取り組みにより、売上収益は前年同期を上回りました。費用面では、売上収益の増加に伴う費用の増加、新規出店やヘアメイク人材の採用促進に伴う人件費の増加、当連結会計年度出店予定店舗の準備費用の発生等があり、前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、売上収益は1,964百万円（前年同期比6.1%増）となり、前年同期に比べ112百万円増加しました。営業利益は459百万円（同9.9%増）となり、前年同期に比べ41百万円増加しました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は284百万円（同10.0%増）となり、前年同期に比べ25百万円増加しました。

セグメントレベルの概況は以下のとおりです。

<スタジオ事業>

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績は、売上収益1,957百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益459百万円（同9.6%増）となりました。

・フォトウェディングサービス

前連結会計年度に開店した「スタジオAQUA宇都宮インターパーク店」が期初から収益貢献したことに加え、顧客のニーズに合わせた提案力強化などに取り組んだ結果、撮影件数は前年同期に比べ5.5%増加、撮影単価は前年同期に比べ1.8%増加となりました。売上収益は前年同期に比べ95百万円増加し、1,831百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

・アニバーサリーフォトサービス

前連結会計年度に開店したHAPISTA COMMONS立川立飛店が期初から収益貢献したことに加え、イベント出展による認知度向上に伴う七五三撮影の増加や、studio AsheryブランドをHAPISTA阪急西宮ガーデンズ店で導入し、1店舗2ブランド展開を開始するなどの取り組みの結果、既存店の売上が向上したことにより、店舗数は減少したものの、売上収益は18百万円増加し、125百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

<その他>

フィットネスジムにおいては、売上収益は前年同期を下回り推移しました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績は、売上収益6百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

①財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ375百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物が417百万円増加した一方で、棚卸資産が29百万円減少したことによるものです。非流動資産は11,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円減少しました。これは主に使用権資産が165百万円減少したことによるものです。

この結果、資産合計は12,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ453百万円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の振替により借入金が305百万円増加したほか、未払法人所得税が68百万円、その他の流動負債が63百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動負債は4,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ572百万円減少しました。これは主に流動負債への振替及び返済により借入金426百万円減少するとともに、リース負債が145百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は7,221百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円減少しました。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は5,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ285百万円増加しました。これは主に利益剰余金が284百万円増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は42.2%（前連結会計年度末は40.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は747百万円となり、前連結会計年度末と比べ417百万円の増加となりました。当第1四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比104百万円減少し、687百万円の収入となりました。主な要因は、税引前四半期利益が436百万円となり、減価償却費及び償却費207百万円、その他の負債の増減額67百万円などのキャッシュの増加要因がありました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは12百万円の収入（前年同期は10百万円の支出）となりました。主な要因は、投資の売却及び償還による収入38百万円のキャッシュの増加要因がある一方で、投資の取得による支出12百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは282百万円の支出（前年同期は276百万円の支出）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出121百万円、賃貸借物件の家賃支払い等によるリース負債の返済による支出161百万円のキャッシュの減少要因がありました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年11月6日に公表いたしました業績予想を変更していません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示します。

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	329,696	747,640
営業債権及びその他の債権	286,175	284,777
棚卸資産	96,152	66,626
その他の流動資産	97,463	85,834
流動資産合計	809,486	1,184,879
非流動資産		
有形固定資産	1,207,750	1,186,179
使用権資産	3,943,023	3,777,255
のれん	5,635,785	5,635,785
無形資産	11,333	10,342
その他の金融資産	567,268	545,428
繰延税金資産	144,779	146,411
その他の非流動資産	3,329	3,329
非流動資産合計	11,513,270	11,304,730
資産合計	12,322,757	12,489,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	503,096	808,232
営業債務及びその他の債務	226,734	270,791
リース負債	613,704	598,436
未払法人所得税	89,044	157,859
引当金	36,973	34,077
契約負債	376,470	366,702
その他の流動負債	335,108	398,584
流動負債合計	2,181,131	2,634,683
非流動負債		
借入金	1,668,412	1,241,998
リース負債	3,098,791	2,953,017
引当金	392,174	392,268
非流動負債合計	5,159,377	4,587,284
負債合計	7,340,508	7,221,967
資本		
資本金	155,384	155,384
資本剰余金	2,732,516	2,733,764
利益剰余金	2,663,649	2,947,795
自己株式	△569,302	△569,302
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,982,248	5,267,642
資本合計	4,982,248	5,267,642
負債及び資本合計	12,322,757	12,489,610

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	1,851,610	1,964,108
売上原価	1,038,644	1,075,687
売上総利益	812,965	888,421
販売費及び一般管理費	395,304	428,540
その他の収益	405	402
その他の費用	7	1,019
営業利益	418,059	459,264
金融収益	2,124	5,795
金融費用	24,325	28,637
税引前四半期利益	395,859	436,422
法人所得税費用	137,630	152,276
四半期利益	258,229	284,145
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	258,229	284,145
四半期利益	258,229	284,145
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	258,229	284,145
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	50.55	55.42

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計	
2024年10月1日残高	155,384	2,747,945	2,518,106	△589,763	4,831,671	4,831,671
四半期利益	—	—	258,229	—	258,229	258,229
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	258,229	—	258,229	258,229
譲渡制限付株式報酬	—	1,289	—	—	1,289	1,289
所有者との取引額等合計	—	1,289	—	—	1,289	1,289
2024年12月31日残高	155,384	2,749,234	2,776,335	△589,763	5,091,190	5,091,190

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計	
2025年10月1日残高	155,384	2,732,516	2,663,649	△569,302	4,982,248	4,982,248
四半期利益	—	—	284,145	—	284,145	284,145
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	284,145	—	284,145	284,145
譲渡制限付株式報酬	—	1,248	—	—	1,248	1,248
所有者との取引額等合計	—	1,248	—	—	1,248	1,248
2025年12月31日残高	155,384	2,733,764	2,947,795	△569,302	5,267,642	5,267,642

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	395,859	436,422
減価償却費及び償却費	206,864	207,066
金融収益	△2,124	△5,795
金融費用	24,325	28,637
有形固定資産除却損	0	1,013
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	9,547	3,878
棚卸資産の増減額 (△は増加)	47,194	29,525
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	46,388	33,793
契約負債の増減額 (△は減少)	△36,843	△9,767
その他の負債の増減額 (△は減少)	120,344	67,330
その他－純額	12,988	11,797
小計	824,544	803,901
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△24,157	△25,317
法人所得税の支払額	△8,408	△91,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	791,978	687,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△11,072	△6,903
投資の取得による支出	△350	△12,046
有形固定資産の売却による収入	672	—
投資の売却及び償還による収入	30	38,454
資産除去債務の履行による支出	—	△6,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,721	12,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△113,778	△121,278
リース負債の返済による支出	△163,136	△161,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,914	△282,319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	504,342	417,943
現金及び現金同等物の期首残高	222,497	329,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	726,839	747,640

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項ありません。

（会計方針の変更）

該当事項ありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項ありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「スタジオ事業」を報告セグメントとしています。

「スタジオ事業」は、フォトウェディングサービスの提供・アニバーサリーフォトの撮影及び写真加工、アルバム等の製作を行っています。

（2）報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間におけるセグメント情報は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	1,843,921	1,843,921	7,688	1,851,610	1,851,610
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,843,921	1,843,921	7,688	1,851,610	1,851,610
セグメント利益又は損失 (△)	419,048	419,048	△989	418,059	418,059
金融収益	—	—	—	—	2,124
金融費用	—	—	—	—	24,325
税引前四半期利益	—	—	—	—	395,859

（注）「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	1,957,221	1,957,221	6,886	1,964,108	1,964,108
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,957,221	1,957,221	6,886	1,964,108	1,964,108
セグメント利益又は損失 (△)	459,402	459,402	△138	459,264	459,264
金融収益	—	—	—	—	5,795
金融費用	—	—	—	—	28,637
税引前四半期利益	—	—	—	—	436,422

（注）「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。